

もっと文化を！文化芸術立国を実現するための請願署名

文化政策具体化のために国家予算に占める文化予算の割合を0.11% から 0.5% に増やすための署名へのご協力をお願いします。

〔呼びかけ人(50音順)〕 2010.10.1

野村 萬	(社)日本芸能実演家団体協議会	会長
		呼びかけ人代表
青空 球児	(社)漫才協会	会長
秋山 和慶	新潟市民芸術文化会館	音楽部門 芸術監督
五十嵐 喜芳	日本オペラ連盟	理事長
池辺 晋一郎		作曲家
石坂 敬一	(一般社団法人)日本レコード協会	会長
石濱 朗	(社)日本映画俳優協会	理事長
一柳 慧	(公益財団法人)神奈川芸術文化財団	芸術総監督
一龍斎 貞水	講談協会	会長
伊藤 京子	(社)日本演奏連盟／芸術家会議	理事長／会長
植木 浩	(社)現代舞踊協会	会長
薄井 恵二	(社)日本バレエ協会	会長
梅津 達男	日本ミキサー協会	理事長
鶴山 仁	新国立劇場	前演劇芸術監督
衛 紀生	可児市文化創造センター ala	館長・劇場総監督
衛藤 征士郎	(財)日本青少年文化センター	理事長
大石 征裕	(社)音楽制作者連盟	理事長
大江 健司	日本人形劇人協会	理事長
大空 かんた	ボーズバラエティ協会	会長
大谷 信義	(社)日本演劇興行協会	会長
大野 晃	日本舞台監督協会	会長
大野 幸則	日本児童・青少年演劇劇団協同組合	代表理事
大庭 洋一	(一般社団法人)日本モデルエージェンシー協会	副理事長
小川 寛興	日本録音指揮者連盟	会長
小沢 昭一	日本新劇俳優協会	会長
尾高 忠明	新国立劇場	オペラ芸術監督
鏡味 仙三郎	太神楽曲芸協会	会長
桂 歌丸	(社)落語芸術協会	会長
桂 三枝	(社)上方落語協会	会長
桂 福団治	関西演芸協会	会長
金森 稔	新潟市民芸術文化会館	舞踊部門 芸術監督
菊棚 月清	大阪三曲協会	理事長
京山 幸枝若	(社)浪曲親友協会	会長
清元 延寿太夫	清元協会	会長
串田 和美	まつもと市民芸術館	芸術監督
高 丈二	(財)東京二期会	理事・幹事長
國分 正明	(社)日本舞踊協会	会長
児玉 幸治	(社)日本オーケストラ連盟	理事長
小山 実稚恵		ピアニスト
小六 禮次郎	日本作編曲家協会	理事長
崔 洋一	(協)日本映画監督協会	理事長
三枝 成彰		作曲家
坂田 藤十郎	(社)日本俳優協会	副会長
佐々木 忠次	東京バレエ協議会	理事長
笹部 博司	新潟市民芸術文化会館	演劇部門 芸術監督
佐藤 しのぶ		声楽家
佐渡 裕	兵庫県立芸術文化センター	芸術監督・指揮者
澤 孝子	日本浪曲協会	会長
沢田 祐二	(社)日本照明家協会	会長
椎名 和夫	パブリック・イン・サード会	代表幹事
篠崎 正嗣	(特活)レコーディング・ミュージシャンズ・アソシエーション・オブ・ジャパン(RMAJ)	理事長
篠原 猛	日本音楽家ユニオン	代表運営委員
芝 祐靖		雅楽奏者
嶋崎 譲	(財)音楽文化創造	理事長
島袋 光晴	沖縄芸能実演家の会	会長
須川 展也		サクソフォン奏者
菅原 瑞夫	(社)日本音楽著作権協会	理事長
鈴木 勲	全日本舞台・テレビ技術関連団体連絡協議会	会長
須田 誠舟	日本琵琶協会	理事長
関山 三喜夫	名古屋洋舞家協議会	副会長

芸団協

GEIDANKYO

【お問い合わせ】もっと文化を！キャンペーン事務局

〒160-8374 新宿区西新宿 6-12-30 芸団協内 TEL:03-5909-3060

署名用紙は、下記ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.motto-bunka.com>



mottobunka



もっと文化を！

心豊かな国へ

日本の国家予算に占める文化予算の割合は 0.11%

このままでよいのでしょうか？

文化予算を 0.5% に

日本には古くから伝承され、今に生きる演劇、音楽、舞踊、演芸、伝統芸能など、いろいろな実演芸術があります。西洋と東洋にルーツをもつ多彩な音楽、芸能が共存している国は、世界でも珍しいでしょう。その文化的な水脈が日本のこれまでの社会を形づくってきました。けれども、近年の情報技術の急速な発達、コミュニケーションのあり方を大きく変え、また、少子高齢化や世界的な経済不況など、社会の変化によって、人々の暮らしは大きく変わりつつあります。今こそ、文化の力を再認識し、文化で日本に活力をもたらす政策が必要です。



芸団協とは

社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸団協)は、俳優、歌手、演奏家、舞踊家、演芸家、演出家、舞台スタッフなどの実演家等の団体が結集し、運営する公益法人です。芸術文化の発展に寄与することを目的に1965年に設立され、現在71団体が正会員(傘下の実演家等は約9万人)となっています。「芸能が豊かな社会をつくる」を理念として、・実演家の著作権隣接権に関わる業務を行う「実演家著作権隣接センター(CPRA)」の運営、・芸能文化の拠点「芸能花伝舎」の運営、・芸能に関するさまざまな調査研究、・政策提言など実演芸術の振興のための事業を行っています。会長は野村萬(狂言師・人間国宝、文化功労者、日本芸術院会員)。



芸団協

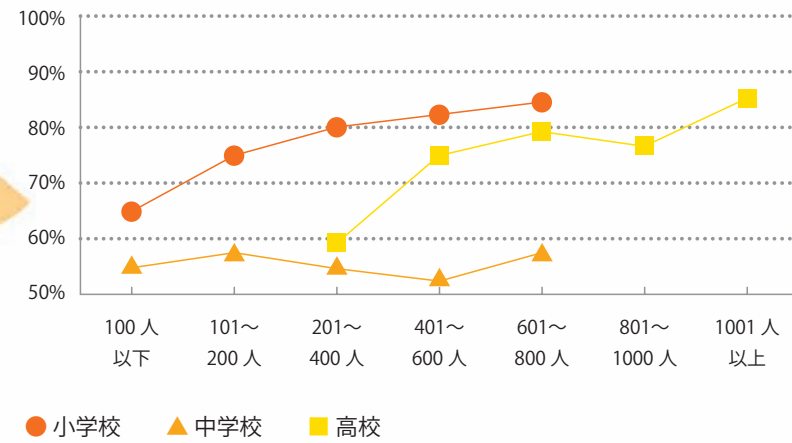
GEIDANKYO



実演芸術を創造する機会、享受する機会の拡充を 子どもたちが、年1回は 実演芸術を楽しむ環境を！

子どもたちが実演芸術にふれる機会は、地域や家庭環境によって違います。等しく学ぶ学校であっても、過疎地や離島を含む小規模校では、鑑賞教室の実施がままなりません。未来を担う子どもたちの感性を刺激し、創造力を育むために、社会的要因に関わらず、芸術にふれる機会を整えることが必要です。

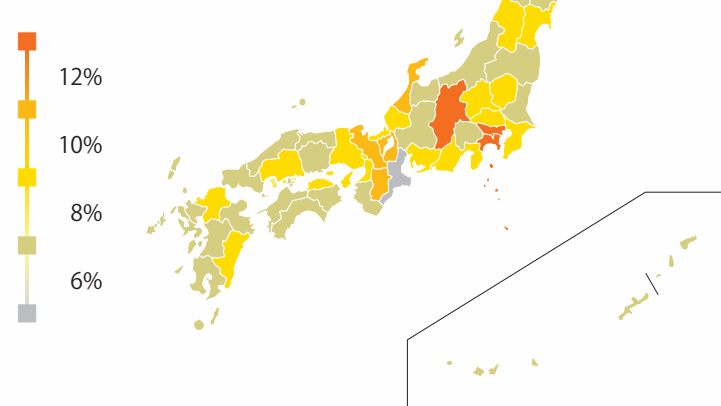
生徒規模別 学校における鑑賞教室実施率(2008年文化庁委嘱調査報告書より作成)



みて、きいて、体験できる実演芸術拠点を充実させるための法整備を 全国に公立文化会館は2000館以上 でも、主な用途は貸館、もっと芸術事業で活用を

学校に先生、病院に医師がいるように、公立文化会館の役割を見直し、地域に実演芸術の専門家がいる施設が必要です。東京や大都市圏に限らず、各地で魅力ある地域づくりのための政策が重要になります。

クラシック音楽鑑賞行動者率
(2006年総務省社会生活基本調査より作成)



多くの人々が文化芸術にふれるために

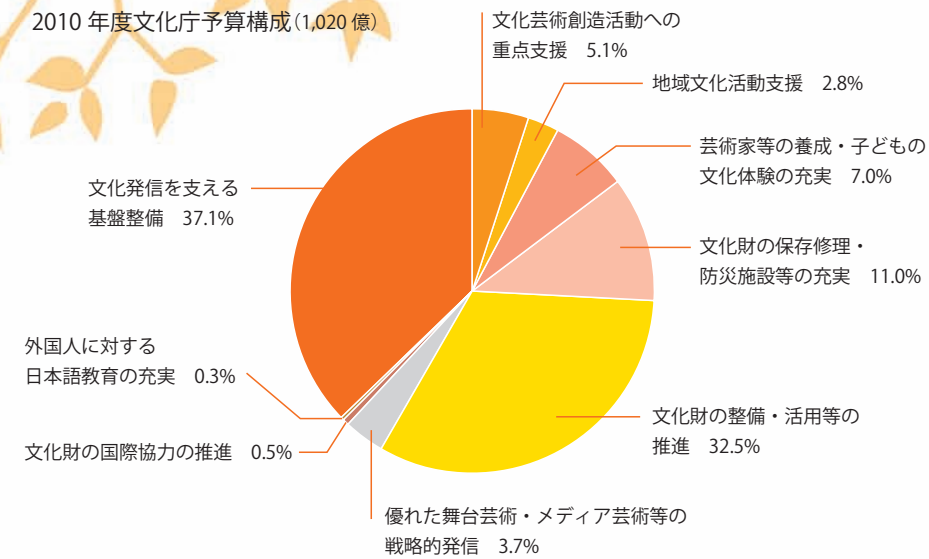
長野県で音楽鑑賞行動者率が高いのは？

○クラシック音楽鑑賞行動者率(行動した人の割合)が、東京・神奈川に次いで12%以上となった長野県。「サイトウ・キネン・フェスティバル」の存在もさることながら、学校鑑賞への自治体支援も盛んなようです。(上図参照)

○演芸・演劇・舞踊鑑賞行動者率は、東京都が21.5%と2位の大阪府(16.9%)を大きく引き離しています。最も低い青森県は9.1%。東京にはいろいろなモノや人が集まっていますが、全国各地で、鑑賞の場がもっと広がっていいのではないのでしょうか？老若男女を問わず多くの人々が文化芸術にふれ、心揺さぶられる感動や心穏むひとときを。

芸術組織が専門性を発揮し、持続的に発展できる新たな助成制度を 専門芸術団体への助成は、文化庁予算全体の わずか3.8%の39億円

2010年度文化庁予算構成(1,020億)



これまでの助成制度は、1つの作品を創造し、公演するための経費から収入を引いた赤字の一部を助成する仕組みでした。これでは必然的に芸術団体に自己負担が発生します。多くの人々に、実演芸術をみて、きいて、体験する機会を提供するために、よりよい助成の仕組みが必要です。

多彩多様な文化産業、観光産業を育成し、国の成長戦略として位置づけを 4,615億円が国家予算の0.5% 日本で培われた独創的な文化芸術で世界に誇れる国へ

日本には多彩で多様な文化資源が存在します。祇園祭やねぶた祭など各地の祭りや民俗芸能、能楽、文楽、歌舞伎などの伝統芸能、そして、演劇、音楽、映画、アニメなど。地域と連携したクラシック音楽祭やロックフェスティバルなども盛んになってきていますが、豊かな資源を文化産業として、また観光産業として世界との交流のなかで発展させることが重要です。

各国の文化予算比率(2008年度文化庁調べ)



私たちは文化政策の充実を求めて「実演芸術の将来ビジョン 2010」をまとめました。詳細は www.motto-bunka.com/soshiki をご覧ください。

